

富士通製ソフトウェアの 提供形態とライセンス体系

富士通製ソフトウェアの提供形態

富士通製ソフトウェアはライセンス（使用权）とメディア（プログラム本体）を分けてご提供しております。

ライセンス（使用权）

サブスクリプションライセンス／サポート

定額料金（月額払い）でご使用いただけるサブスクリプションライセンスをご提供しております。

月額払いに加えて、7年間分をまとめた一括払いもご用意しております。

詳細については、「[富士通製ソフトウェアのサブスクリプション](#)」をご覧ください。

従量課金

使った分だけお支払いいただく従量制料金ソフトウェア「[Pay-as-you-go Software](#)」をご用意しております。

永続ライセンス

一度ご購入いただければ追加費用なしで永続的にご使用いただけます。ライセンスに有効期限はありません。

メディア（プログラム本体）

プログラム本体を物理媒体（CDまたはDVDなど）に収めて提供しております。

※）メディア（物理媒体）にライセンスは付属していません。

ソフトウェアのご利用には、別途サブスクリプションライセンス／サポートとあわせてご購入いただく必要がございます。

富士通製ソフトウェアのライセンス体系

富士通製ソフトウェアの主なライセンスタイプと購入方法を解説します。なお製品によっては、ライセンスタイプを組み合わせる必要がある物もあります。また、ここでご紹介しているライセンスタイプにあてはまらない製品もあります。

搭載プロセッサ数従量制

マルチコアプロセッサの場合は「コアの総数 × 特定の係数分（小数点以下端数切上げ）」を購入します。

ライセンス名称例	プロセッサライセンス
購入方法	<p>ソフトウェアをインストールするサーバーに搭載されているプロセッサの数に応じて、以下のとおり購入が必要です。</p> <ul style="list-style-type: none">・ シングルコアプロセッサの場合は、1 プロセッサあたり1 本の購入が必要です。・ マルチコアプロセッサの場合は、コア総数に特定の係数を乗じた数（小数点以下端数切上げ）分のライセンスの購入が必要です。 <p>プロセッサごとに定める係数に関しては以下の「プロセッサライセンス定義書」に記載の内容をご参照ください。</p> <p>プロセッサライセンス定義書（75KB / 2ページ：2024年4月）</p>

搭載コア数従量制

ライセンス名称例	コアライセンス
購入方法	<p>ソフトウェアをインストールするサーバーに搭載されている総コア数分のライセンス購入が必要です。</p>

インストール台数従量制

ライセンス名称例	サーバライセンス ライセンスパック ライセンス名称の記載がない製品（フルパッケージ型の製品）
購入方法	<p>ソフトウェアをインストールするコンピューターの台数に応じて購入します。</p>

クライアント台数従量制

ライセンス名称例	クライアントライセンス
----------	-------------

購入方法	クライアント用ソフトウェアをインストールするコンピューターの台数に応じて購入します。
------	--------------------------------------------

クライアント同時接続数従量制

ライセンス名称例	クライアントライセンス
----------	-------------

購入方法	サーバーへ同時に接続するクライアント数に応じて購入します。
------	-------------------------------

ユーザー数従量制

ライセンス名称例	ユーザーライセンス
----------	-----------

購入方法	サーバーに登録するユーザー数に応じて購入します。
------	--------------------------

監視対象ノード数従量制

ライセンス名称例	ノードライセンス
----------	----------

購入方法	サーバーから監視される監視ノードの数量に応じて購入します。
------	-------------------------------

データ総容量制

ライセンス名称例	テラバイトライセンス
----------	------------

購入方法	データ総容量に応じて購入します。
------	------------------

機種クラス従量制

ライセンス名称例	サーバライセンス
----------	----------

購入方法	「機種クラス」に応じて購入します。機種クラスの詳細はお問い合わせください。
------	---------------------------------------

富士通製ソフトウェアのクラウド対応

富士通のソフトウェアは、自社提供のクラウドサービスに加え、マルチベンダーのパブリッククラウドサービスでも利用できる豊富なラインナップで多様なニーズにお応えしています。多くの稼働実績に裏付けられた品質と、クラウドでのご利用に最適なライセンス体系で、お客様のクラウド活用を支えます。

ご利用形態

クラウドサービスで富士通製ソフトウェアを利用する形態として、以下の2種類を提供しております。

Pay-as-you-go Software（従量課金）

富士通製ソフトウェアをクラウドサービス（IaaS）にインストールして、使った分だけお支払いいただく従量制料金でご利用いただけます。ソフトウェアを利用しない月は料金が発生しないため、コスト削減できます。詳細については、「[Pay-as-you-go Software](#)」をご覧ください。

Bring Your Own License : BYOL（ライセンス持ち込み）

富士通製ソフトウェアのライセンスとメディアを購入して利用いただく形態です。

購入したソフトウェアのメディア（物理媒体）をお客様自身で対象となるクラウドサービス（IaaS）にアップロードしたうえで、インストールして利用します。

対象クラウドサービス（IaaS）

富士通製ソフトウェアが稼働するクラウドサービス（IaaS）は以下です。

FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-O
FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-V
FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure
FUJITSU Hybrid IT Service for AWS
FUJITSU Cloud Service for SPARC
Microsoft Azure
Amazon Elastic Compute Cloud（Amazon EC2）
Oracle Cloud Infrastructure [\[富士通ページ\]](#) [\[ORACLE社ページ\]](#)

対応ソフトウェア

クラウドサービス（IaaS）でご利用できる富士通製ソフトウェアの対応状況につきましては、「[ソフトウェアガイド](#)」のページから対象の製品名で検索して表示されるガイドブック内にある「適応機種 概要」をご確認ください。